狩守　勝義 議員

「地域の力」を活かして河川内ごみ処理を

答 活動していただけるなら町も支援する

女性の声、若者の声をもっと町政に……

問 台風19号による河川内のごみ処理について(1)現在の状況は。(2)町独自の対策は。

答 まちづくり整備課長　(1)県は河積阻害するものについてのみ、優先順位により対応している。(2)一級河川では、町が専用し管理地にしている場所で、破損した箇所の復旧を優先的に行っている。自然景観の必要性も認識しているが、管理地外の伐採やごみ処理は難しい。

再問 「地域の力」を活かしてきれいにするという考えがあってもいいのではないか。

再答 環境課長　地域の方々が率先して活動していただけるのであれば、町も支援する考えはある。

技監　県でも河川美化活動に対して支援を行っている。ぜひその制度を活用していただきたい。

都幾川桜堤歴史の里公園付近＝R2.2.2

青少年のメディア・リテラシーの育成とネットいじめについて

問 (1)メディア・リテラシーの育成はどのように実施しているのか。(2)町のネットいじめの現状は。

答 教育長　(1)ICT教育を行う上で「メディア・リテラシー教育」は必須なので授業を通して行っている。(2)いじめに関しては、学期に一回程度全児童生徒を対象に記述式の調査を行っていて、「ネットいじめ」に関して書き込み事案はあったが、直接いじめにつながる事例はなかった。

再問 他の自治体では「ピンクシャツデー」活動や「いじめゼロ宣言」をしているところもある。これはいじめ防止に対する意識の高まりや抑止力効果になると思うが、検討の考えは。

再答 教育長　各児童会生徒会で「いじめゼロ宣言」とか「いじめ撲滅宣言」を出す方向で活動している。

女性や若者の声を町政に

問 女性や若者の意見を直接聞く機会を設ける考えは。

答 地域支援課長　大事なことなので研究していく。

渋谷登美子 議員

性的少数者・パートナーシップ制度を

答 他市町村の動向もみて考える

心と体の性が違うってつらい。多様性を認めよう。

問 LGBTの人権についての具体的な取り組みを聞く。

答 地域支援課長　LGBTは、L（レズビアン）女性同性愛者、G（ゲイ）男性同性愛者、B（バイセクシュアル）両性愛者、T（トランスジェンダー）心とからだの性が一致しない人の頭文字から作られた言葉で、性的少数者をいう。就職や医療、公共サービス、社会保障などに不利益を被っている。職場において嫌がらせや避けられるという偏見がある。国では性同一性障害の性別の取り扱いの特例に関する法律の制定、男女雇用機会均等法等で対策を講じてきた。町は人権担当職員が県主催研修会に参加し、町民へはリーフレットを配布している。

問 町民に対しての研修に当事者による啓発は。

答 地域支援課長　来年度検討する。

問 学校教育での児童・生徒への相談体制は。

答 教育長　昨年、生徒の相談があった。養護教員が担当している。更衣室・呼称等については児童生徒の希望を受けて適切に対処していく。

問 婚姻と同等と認めて証明書を発行するパートナーシップ制度の導入は。

答 町長　人権の問題であるので、対応したいが、他市町村の動向を見て考える。

遠山のスダジイ林

問 小川町下里から嵐山町遠山に続くスダジイ照葉樹林は関東地方内陸部の北限である。県の天然記念物として、保全を。

答 教育委員会事務局長　県文化財保護審議会は嵐山町での分布状況・植生が不明確で林の調査研究が行われていないこと、地元の意向が不明であるため、検討する状況にないとの回答だった。

問 今の時期に調査すべきでは。

答 教育委員会事務局長　難しい。

町民課窓口のレインボーフラッグ（LGBTの社会運動の象徴）＝R2.3.23　嵐山町での住民票などの各種申請用紙には性別を記入する欄はありません。